



# これまでの取り組み

平成  
29  
年度

これからの奥沢の風景について考えました。

まちあるき

意見交換会

風景づくりセミナー

平成  
30  
年度

風景の魅力を共有し、奥沢の風景を守り育てる手立てを考えました。

ワークショップ  
50年後の  
奥沢の風景への願い

風景祭  
なぞとき、ペイント等

ワークショップ  
風景づくりの方針、  
エリアの検討

令和  
元  
年度

色彩への理解を進めるとともに、近代建築を巡ることで奥沢の風景の魅力を再確認しました。

まちあるきワークショップ  
奥沢のみどりが活きる色探し

風景祭  
奥沢2丁目スタンプラリー等

平成  
30  
年度

## ワークショップ ～50年後の奥沢の風景への願い～

地区の皆様とともに、「50年後には奥沢の風景がどうなっていたらよいか」を考え、様々な意見をいただきました。



3つのグループに分かれて意見交換を行いました。



平成  
30  
年度

## ワークショップ ～風景づくりの目標、重点エリアの検討～

地区にお住まいの18名の方々にご参加いただきました。

「奥沢1～3丁目全体での風景づくりの目標」や、「重点的に風景づくりを進めるエリア」の方針について、たたき台を事務局から示し、皆さんにご議論いただきました。



グループ  
ワーク

発表



意見の共有

令和  
元  
年度

## まちあるきワークショップ

「奥沢のみどりが活きる色探し」をテーマに、まちあるき、ワークショップとレクチャーを行い、当日は23名の方々にご参加いただきました。

まちあるきでは、奥沢2丁目を歩き、実際に建物や塀に使われている色や、みどりのしつらえを確認しました。

ワークショップでは、「奥沢で家を建てるとしたら、外壁と屋根の色をどんな色にするか」をテーマに、「みどりが活きる色使いとすること」、「周辺と調和した色使いとすること」を意識して、グループに分かれて検討しました。



ワーク  
ショップ

まちあるき



# まちあるきワークショップ

## 奥沢らしい みどりが活きる色って？

奥沢の住宅地の風景は、庭先に連なるみどりが特徴的です。みどりがより生き生きと見えるような建物の色使いについて、色彩の専門家である田邊氏にお話をいただきました。

### みどりを美しく鮮やかに見せるために

人間は、視界の中にある最も鮮やかな色から風景の第一印象を感じ取っています。

植物の緑色の彩度は、紅葉の時期などを除くと、概ね彩度 6※までとなっています。建物や塀の色彩は、これより鮮やかさを抑えることで、みどりをより美しく、鮮やかに見せることができます。

(右図参照)

#### ※色彩の三属性

色には3つの性質(色相・明度・彩度)があります。

色相：赤・青といった色合い。

明度：明るさの度合いを表す尺度。

彩度：鮮やかさの度合いを表す尺度。

また、砂や岩石の色は、植物の緑色よりも彩度が低く、穏やかで暖かみのある暖色系の色です。季節による色の変化がないため、自然風景の中では「地」の色となっています。砂や岩石の色は、街の中の建物や塀などにもよく使用されており、自然風景の中だけでなく、街中でも風景の「地」の色となって、みどりを引き立てます。

### みどり豊かな第一印象をつくるために

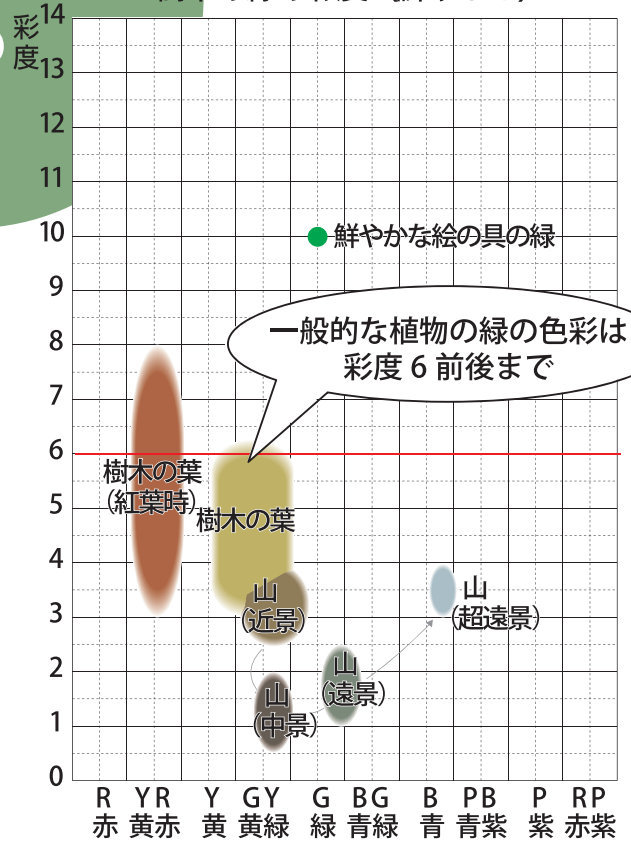
例え少量であっても、視界の最も手前にある色は強い印象を与え、建物の第一印象をつくります。

この効果を利用して、建物や塀よりも前に植物を配置することで、みどり豊かな建物の印象をつくることができます。ささやかなみどりであっても、建物や塀の前に配置するみどりの効果は絶大です。

さらに奥沢の風景の魅力をまち全体に波及させるためには、目に見えるみどりを視覚的に繋いでいくことが有効です。

令和元年のワークショップ「みどりが活きる色探し」で行われた田邊氏によるレクチャーをもとにまとめたものです。

### 樹木の緑の彩度(鮮やかさ)



建物や塀の前面に植栽することで、みどり豊かな印象に。



# 界わい形成地区指定に関するアンケート

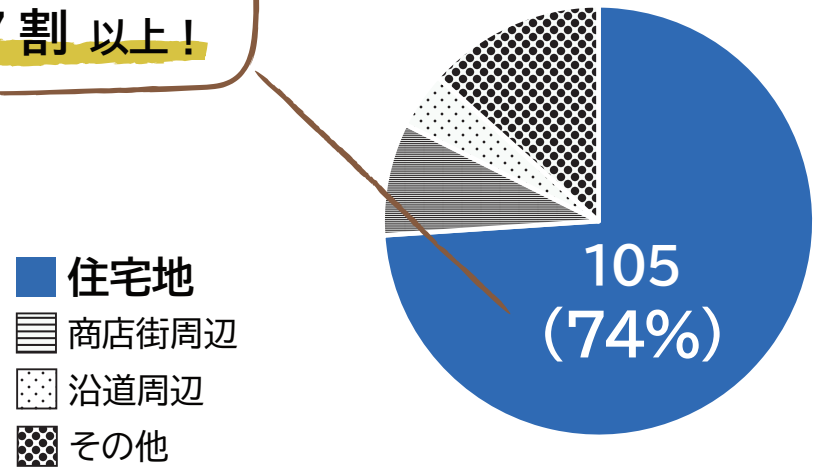
「奥沢らしい風景」と「風景を守り育てるために必要な基準」について、地区の皆様を対象にアンケートを実施しました。

※平成 30 年度に実施した以下のイベントにて実施。ワークショップ、奥沢文化祭、風景祭、新春地区まつり

## Q1 奥沢の風景を守り育てていく上で、特に奥沢らしいと感じるエリアは次のうちどれですか。(複数回答可・回答数：142)

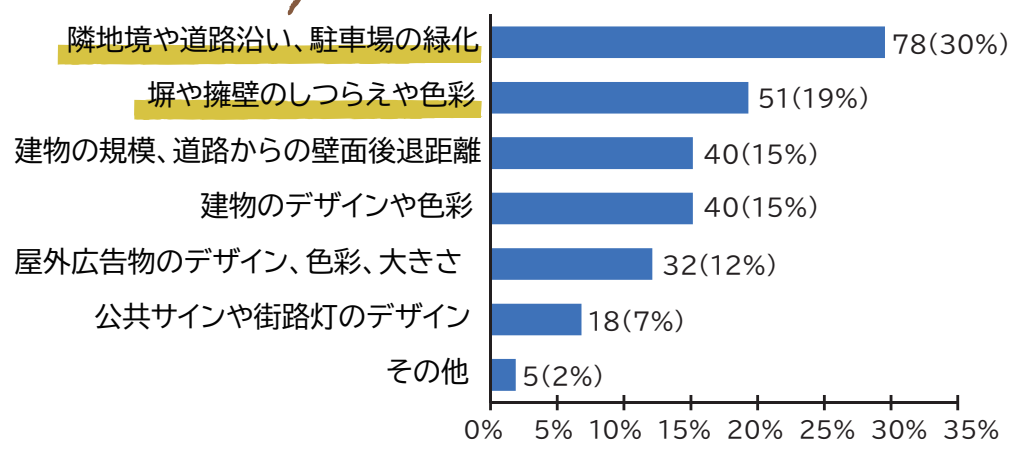
特に「奥沢らしい」と感じる風景について、**「住宅地」と答えた方が 7 割 以上!**

「風景を守り育てる上で奥沢らしいと感じるエリア」は、「住宅地」(74%)との回答が多く、奥沢らしい風景を住宅地を考える方が多いことがわかりました。



## Q2 界わい形成地区の基準づくりにおいて必要だと思うものは次のうちどれですか。(複数回答可・回答数：264)

敷地内の **建物まわりに関する基準** が必要だと考える方が多い



「隣地境や道路沿い、駐車場の緑化」(30%)、「塀や擁壁のしつらえや色彩」(19%)といった敷地内の建物まわりに関する基準が必要だと考える方が多いことがわかりました。



平成30年・令和元年

# 風景祭

奥沢の風景の魅力や奥沢での風景づくりの取組みをより多くの方に知ってもらうため、これまで2回の「風景祭」を開催しました。(平成30年11月、令和元年11月)

平成  
30  
年度

## 風景祭（奥沢公園）

来場者  
約500人！



ペイント

奥沢の理想の街並みを考える



▲ こどもの絵はどれも独創的。



▲ 対話をしながら多摩美大生が奥沢の理想の街並みをライブペイント。



奥沢の風景や歴史を学ぶ

なぞとき



▲ なぞときシートは全5種類。奥沢の歴史や風景などを学んでもらいました。



▲ 風景づくりの取組みや奥沢の風景の写真の紹介パネルを展示しました。



▲ 奥沢の風景を音楽付き映像で公開。(作成：NPO法人「土とみどりを守る会」)



▲ 奥沢交和会より、多大なるご協力をいただきました。焼きそばは、12時には売完。



▲ 参加賞には、NPO法人「土とみどりを守る会」からチェリーセージ・デンドロビウムを提供いただきました。

令和  
元  
年度

# 風景まちたんけん スタンプラリー（奥沢2丁目）

来場者  
約300人！

奥沢2丁目を舞台に、スタンプラリーを行いました。スタンプラリーに合わせ、歴史ある住宅や庭、地域の交流を広げる場所などが特別に公開されました。

当日は、参加者にスタンプラリーカードを配布して8つの会場を巡っていただき、各会場で奥沢の風景や歴史、活動の紹介やミニイベントを実施しました。



▲ 普段の通りの風景とは一変。  
この日は奥沢2丁目界隈全体が多くの人で賑わいました。

近代建築  
1



近代建築  
2



シェア奥沢



読書空間  
みかも



W邸



子育てひろば  
おりーぶ



奥沢交和会館



▲ ポイントをめぐるスタンプを集めました！  
スタンプは、各ポイントにちなんだデザインに。